

3 C区市町村包括補助 令和5年度採択事業一覧

子育てに全力で取り組む区市町村徹底支援プロジェクト

自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクト

「みんなの居場所」創出プロジェクト

令和6年2月
東京都

はじめに

東京都は、「『未来の東京』戦略」（令和3年3月策定）においてその核に据えた**3つのC（Children(子供)、Chōju(長寿)、Community(居場所)）に係る取組を区市町村と連携して推進**し、子供が笑顔で子育てが楽しいと思える社会、誰もが心豊かに自分らしく暮らせるChōju社会、誰もが求める「居場所」につながる可以实现を目指しています。

そのために本補助事業では、区市町村の取組のうち、**既存の補助事業の対象範囲を超えた分野横断的な事業や事業効果が複数分野に波及する先駆的な事業**に対して補助を実施しております。

本冊子には、令和5年度に採択した事例を掲載しております。東京都では、来年度以降も3つのCに係る取組を都内全域に波及させるよう取り組んでまいります。各区市町村におかれましても、**事業の構築や本補助事業の活用に向けた検討に、本事例集を役立てていただけますと幸いです。**

目次

- 1 令和5年度 子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業について P4
- 2 子育てに全力で取り組む区市町村徹底支援プロジェクト（通常区分） . . P5
（少子化対策区分） . . p12
- 3 自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクト P19
- 4 「みんなの居場所」創出プロジェクト P27
- 5 参考 P35

1. 令和5年度 子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業について

- 以下の内容にて事業を募り、令和5年度は新たに26事業を採択しました。

対象事業

- 既存の補助事業の対象範囲を超えた**分野横断的な取組**や**事業効果が複数分野に波及する先駆的な取組**
 例：「未来の東京」戦略（121、144、168ページ）に記載のあるようなハードとソフト、教育分野と保育分野、子供と高齢者など既存事業では取組が困難であった分野横断的な事業等

補助内容

- **補助率・補助期間は、10/10・最大3か年（審査は毎年度実施）**
- 区市町村は、**各区分ごとに補助上限額の範囲で申請可能。複数の事業を組み合わせることも可能**
 複数の区分への申請も可能であるが、一事業を複数区分に重複して申請することは不可

区分	Children	Chōju	Community
	子育てに全力で取り組む区市町村 徹底支援プロジェクトに関する事業 ・子育ての豊かな環境づくりや 少子化対策に関する事業 など	自分らしく暮らせる“Chōju”東京 プロジェクトに関する事業 ・デジタルを活用した高齢者の QOL向上 など	「みんなの居場所」 創出プロジェクトに関する事業 ・地域資源を活用した新たな居場所の 創出 など
令和5年度予算額（予定） ※新規採択分 予算計上（福祉保健局）	3億円 「通常区分」2億円・「少子化対策区分」1億円 子供家庭支援区市町村包括補助事業	5億円 高齢社会対策区市町村包括補助事業	2億円 地域福祉推進区市町村包括補助事業
補助上限額			
基盤整備を伴う事業	5千万円	1億円	5千万円
基盤整備を伴わない事業	1千万円	1千万円	1千万円

※「自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクトに関する事業」は、デジタル活用が要件

2.子育てに全力で取り組む区市町村徹底支援プロジェクト（通常区分）

【採択事業一覧】

1	台東区	障害のある人や妊産婦、子供・若者を誰一人取り残さず、切れ目なく支援していく施設の整備事業	P 6
2	品川区	児童発達支援センターと児童館の一体的な運営による子どものためのインクルーシブな拠点の整備	P 7
3	東村山市	“子どもの遊び場”安心エリア整備事業	P 8
4	東久留米市	こども・子育て当事者とともに創る安全・安心な心地良さ溢れる公園整備事業	P 9
5	西東京市	本との出会いからつながるプロジェクト～子どもがど真ん中へ～	P 10
6	利島村	子供の未来を育む拠点づくり事業	P 11

気軽に立ち寄れる居場所と相談支援拠点を一体的に新築整備することで、日常的な交流を通じて気軽に相談できる環境づくりを行うとともに、分野を超えた切れ目ない相談体制を構築

現状・課題

- 障害のある人の安心した生活には**地域社会における理解**が重要 → **障害に対する理解促進**を図ることが必要
- 妊産婦・子供・若者が抱える課題は**複合的かつ多様** → **分野を超えた切れ目ない相談・支援体制**が必要
- 相談・支援に関する**心理的障壁**を下げる**ことが重要** → **相談しやすい環境づくり**が必要

事業内容

◆交流の場

<交流を促すきっかけづくりや障害のある人への理解促進>
 ・交流イベントや保育士・年齢の近いスタッフによる声かけ
 ・障害のある人との交流事業や、VRによる視覚障害体験等

<子供の意見>
 ・子供371人へのアンケート結果を反映した施設整備

<誰でも来られる環境整備>
 ・インクルーシブひろばやカフェを整備

日常的な交流の場と一体化 (気軽に相談できる環境づくり)

◆子供・若者相談支援拠点

- ・妊産婦・子供・若者等のあらゆる相談に対応できる**総合相談窓口**の設置
 (保健師・社会福祉士・精神保健福祉士・保育士等を配置)
- ・不登校児への支援や、ひきこもり支援の実施

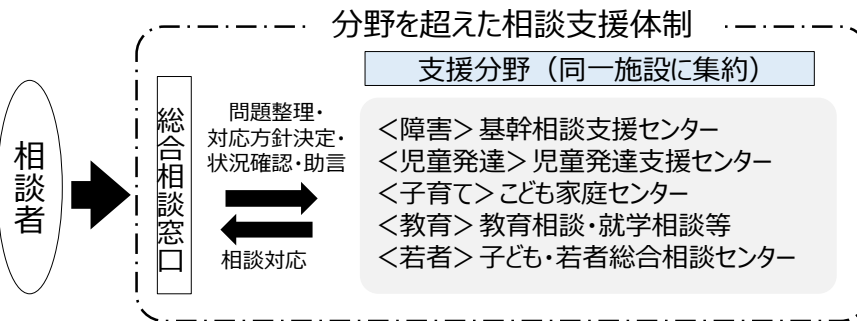
<子供の意見を踏まえて整備する主な交流の場>
 ○カフェ ○くつろぎ空間 ○学習室 ○音楽スタジオ
 ○地域交流スペース ○運動室



交流の場 (イメージ)



インクルーシブひろば (イメージ)



児童発達支援センターと児童館の一体的な運営による子どものためのインクルーシブな拠点の整備

現状・課題

- 心身の発達に課題のある子どもの増加 → 支援を質・量ともに充実させる必要
- 障害のある子どもの遊び場と児童館が同じ建物にありながら、構造上分離されており交流が少ない
 - ➔ 互いの個性や違いを認め合うことができるように、**幼少期から遊びを通じて交流する環境整備**が必要

事業内容

◆ 障害のある子ども・障害のない子どもと一緒に遊び交流できる拠点整備

- ・児童発達支援センターを新設し、児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援等を実施
- ・児童発達支援センターと児童館が同じ建物にある利点を生かし、**一体的に運営**
- ・障害のある子どもとない子どもが**一緒に遊べるエリア**を年齢ごとに整備
(小学生向けエリア、乳幼児・親子向けエリア)

◆ インクルーシブな遊びのプログラム

- ・児童発達支援センターと児童館が連携した**遊びのルール作り**
- ・交流プログラム案
 - eスポーツの導入 (例：視線入力ゲーム、落ちものパズル等)
 - パラスポーツのイベント実施 (例：ブラインドサッカー、ゴールボール等)

◆ 子ども会議による提案をプログラムに反映

- ・障害のある子どもとの交流等について、児童館利用者で (仮称) 子ども会議を開催し検討



施設の外観 (現況)

※障害のある子どもの遊び場と児童館の入口、フロアが分かれている



インクルーシブひろば

遊び（ボール遊び場）×多世代交流（図書館）×見守り（デジタル）の連携により
子供が安心して遊び、交流できるエリアを創出

現状・課題

- 身近にボール遊びできる場所がない ➡ **子供が自由に遊べる場所の不足**
- 子育て世代の増加 ➡ **多世代交流できる居場所の需要**
- トラブル、事故の懸念 ➡ **子供の安全・安心確保が必要**

事業内容

◆ボールが使える遊び場の整備

- ・ゲートボール場を**子供のボール遊び場**に再整備(人工芝、防球ネット)
- ・地域団体の優先予約や施錠管理により**近隣と合意形成**

◆図書館を活用した多世代交流拠点・居場所の整備

- ・**中庭を多世代交流スペース**に再整備(日除け、ツリーベンチ、ゴム舗装等)
- ・**地域人材を活用**した読み聞かせ・スポーツ・花壇植替え等の**交流イベント**

◆デジタル活用により各施設を結ぶ見守りエリアを創出

- ・遊び場、図書館、学校等での**子供の位置情報**を保護者に提供
- ・地域住民の**スマホアプリがセンサー**となり、位置情報収集に協力
- ・警察と協定締結し、**緊急時には位置情報に基づき速やかに対応**



子供の遊び場エリア



ゲートボール場（現況）



図書館中庭（現況）

子供参加型の整備を通じて、地域資源を活かした自然・文化体験、多世代交流など
公園整備の枠を超えた交流の場を創出

現状・課題

- 子育て世代の孤立化 ➡ 交流場所・居場所の需要
- 1ha以上の公園が3か所のみ ➡ 運動や様々な活動ができる場所が必要
- ライフスタイルや価値観の多様化 ➡ 公園整備にも子供・子育て世代の意見を取入れ

事業内容

◆公園ストックマネジメント

- ・子供・子育て世代が集える公園の整備（多世代、市民参加で検討）
- ・ボール遊び場整備（12の小中学校区に各1か所以上の整備を検討）

(第1段) 地域固有の自然溢れる既存公園を子供と一緒に再整備

<竹林公園の子供参加型整備と活用>

◆小学生が基本設計に参加

- ・子供の提案を実現（SNS用のライトアップ等）
→地域資源としての魅力も向上（ロケ地等）

◆地域固有の自然体験

- ・タケノコ掘り、間伐体験等

◆伝統文化の体験を通じた多世代交流

- ・竹細工職人による講座等



竹林公園



竹細工講座



タケノコ掘り体験

図書館が果たす役割を積極的に見直し、
教育・地域交流・子育て支援等の多分野において図書館司書によるアウトリーチ型連携事業を実施

現状・課題

- デジタル化による情報収集手段の変化 → 図書館が果たすべき役割も変化
- 子供は習い事などで多忙 → 子供の読書離れ
- 学校での端末配布、スマホの普及 → どこからでも利用できる図書のニーズ
- 地域の繋がりの希薄化 → リアル・オンラインでの交流機会の拡充が必要

事業内容

◆学校との連携（教育）

- ・ふるさと探究学習の調査支援、調べ学習コンクール、一日図書館員の受入
- ・学校司書・地域の児童によるイベント企画・実施支援（ビブリオトーク等）
- ・図書館司書による放課後子供教室等への出張お話し会・ブックトーク

◆地域の居場所の充実（地域の多様な主体と連携）

- ・地域人材（学校運営協議会、市民グループ）との協働による読書活動支援
- ・保育園、児童館、民間施設への図書館司書派遣

◆ブックスタート事業（子育て）

- ・乳幼児への読み聞かせ会、絵本プレゼント
- ・マタニティブックスタート

◆電子図書館の導入と活用



中学校図書委員とのコラボ展示



司書による保育園での読書イベント



放課後子供教室

島の地域特性 (Iターン、島外への進学など) を踏まえ、
デジタル技術を活用した子供の遊び・学び・交流の拠点を一体的に整備

現状・課題

- 人口の半分以上が移住者 (Iターン) ➡ 子供・子育て世代を含めて、**地域交流が少ない**
- 島内に子供が活動・交流できる場所が少ない ➡ 島内のすべての子供に意見を聴き、「**雨の日の遊び場**」、「**勉強できる場所**」のニーズが高いことを把握
- 島内に高校がないことから、進学に伴い高校生は必ず離島 ➡ 進学しても「**帰って来たい**」「**住み続けたい**」島に

事業内容

◆子育て交流施設の整備

- ・DIYスペース、ミニキッチンを整備
- ・島の木材(樺)を活用した木工細工教室等のイベントを開催
- ➡子供・子育て世代同士の交流や多世代交流の促進

◆屋内遊び場・学習施設

- ・デジタルを活用した屋内用の体を動かし遊べる場を設置
- ・集団指導も行える**学習スペース**を整備

◆子供と島外の若者との交流

- ・臨場感のある**オンライン交流**が可能な設備の導入
- ・進学相談イベント等、**進学で離島した若者との交流**を促進

◆スタートアップの技術を活用した水循環システム

- ・生活排水を循環処理できるシステムを活用
- ・島の渇水リスクについて子供たちの学びの機会を創出



デジタルを活用した屋内用ボルダリング設備 (イメージ)



オンライン交流設備



学習スペース (イメージ)



水循環システム

2.子育てに全力で取り組む区市町村徹底支援プロジェクト（少子化対策区分）

【採択事業一覧】

1	品川区	0歳児見守り・子育てサポート事業（見守りおむつ定期便）	P 13
2	世田谷区	若者の出会いを支援するセミナー、交流会の実施	P 14
3	豊島区	ソフト面とハード面の両輪で進める少子化対策事業	P 15
4	東村山市	子育てしやすいスポット・取組の見える化事業	P 16
5	東久留米市	男性の家事・育児参加促進のための講演会及び地場産野菜の収穫と料理教室	P 17
6	あきる野市	子育て総合ポータルサイトの構築や子育て世帯の移住・定住の推進	P 18

0歳児家庭への定期的な見守りと育児用品の配達を行い、育児の孤立化を防止することを目的としたアウトリーチ型支援を行う

事業内容

◆満1歳の誕生日まで月に1回程度対面での見守り訪問及び育児用品の配達

・虐待のリスクが最も高い0歳児家庭を精神面・経済面の両面でサポート

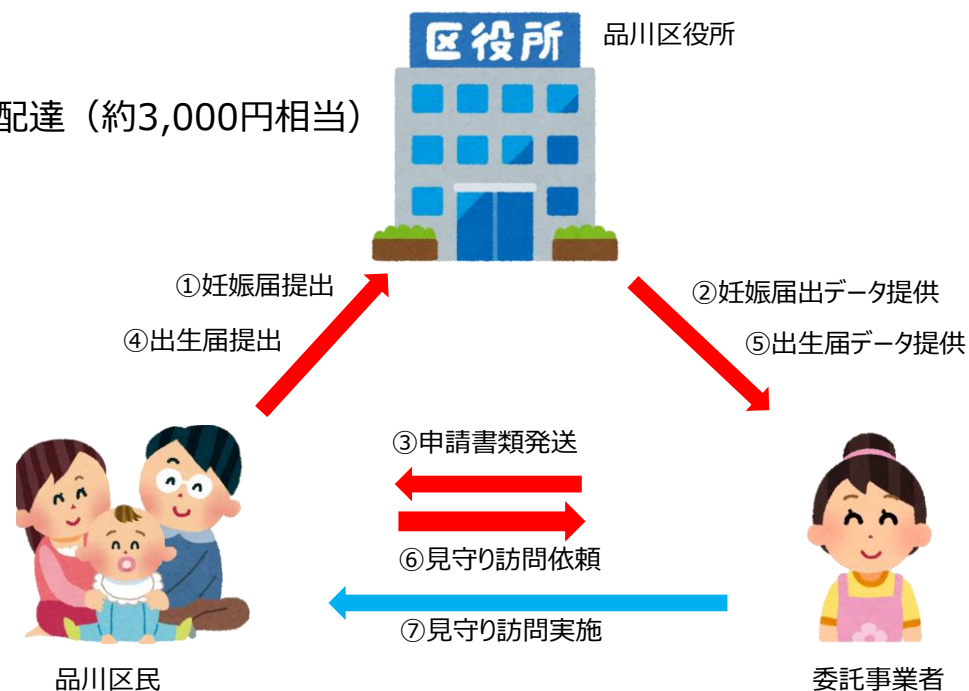
・見守り支援員が対面で養育者と子供を見守り

・見守りと同時に紙おむつやおしりふき、ミルク等育児用品を配達（約3,000円相当）

・見守り支援員が、保護者の育児への不安や困りごと、心配事等がないかチェックリストに基づき聞き取りをすることで精神的な不安を軽減し、育児の孤立化を防止

・相談内容に応じ、区のサービスの紹介を行うとともに区の支援が必要と判断される方には保健センター等から支援を行う

・対象者数 毎月約3,400人



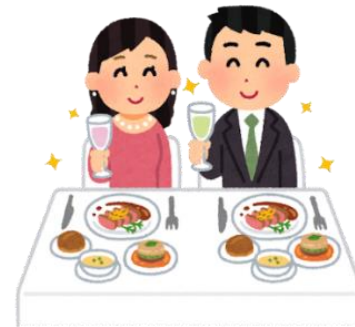
結婚を希望する若者に出会いや交流の場を創出する

事業内容

◆ライフデザインセミナー「仕事・結婚・子育てを楽しむヒントを見つけよう」

- ・自分の将来像を描くために必要な知識・情報・体験を提供
- ・実施方法：オンライン
- ・参加人数：上限なし
- ・対象：都内在住・在学・在勤の20代～30代
- ・東京都との共催

今後の人生を長期的視点で考え、大きな分岐点で主体的・自律的な選択をするためのヒントを見つける



◆若者のみらい応援イベント「せたがや婚活イベント～せた婚～」

- ・結婚を希望する若者に出会いや交流の場を提供
- ・内容：婚活交流会（対面）
- ・参加人数：定員40名（男女各20名ずつ）
- ・対象：都内在住・在学・在勤の結婚を希望する20代～30代の男女



令和5年度

令和6年度以降～

ライフデザイン
セミナー
(都×世田谷区)

結婚に対する
気運醸成

若者みらい応援
イベント
(世田谷区)

結婚を希望する
男女の出会いの場を提供

事業効果検証、
新たな計画
策定検討

少子化対策
(未婚化・晩婚化対策)

子育て・育児支援と環境整備を並行して行うことでソフト面とハード面の両輪で少子化対策に寄与する

事業内容

◆妊娠期からの男性育児支援

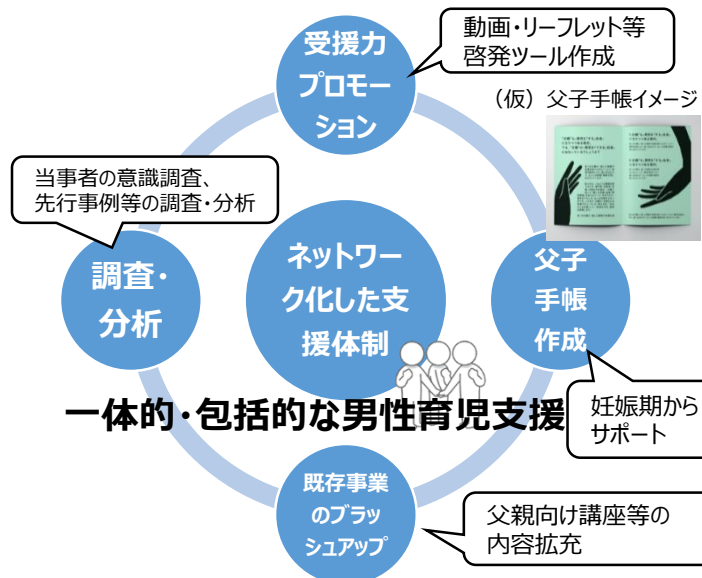
- ・区各部署及び**民間支援団体**によりネットワーク化した支援体制を構築し、連携して交流会、教室等の事業を**一体的に実施**
- ・ネットワーク会議の意見を踏まえ、既存の男性育児講座等をブラッシュアップ
- ・**男性の受援力**（助けを求める力）を高める啓発プロモーションの実施
- ・（仮称）**父子手帳**の作成・配付および支援へつなげる仕組みづくり
- ・**男性の育児支援に向けた調査**を実施し、**男性のニーズ**や志向に合った父子手帳の作成、事業の再構築等へ反映

◆ファミリー向け区営住宅の供給

- ・子育て世帯の区営住宅について**安心・安全な設備**に改修
- ・一般向け住戸を**子育て世帯向けに改修**し、若年ファミリー向け住戸として提供（指が挟まれにくい扉・ドア、チャイルドフェンス、使いやすい蛇口等を設置）

◆公園のバリアフリートイレにおむつ替え用の折り畳みシートを設置

- ・外出時に**男女関係なくおむつ替え**できる環境を整備



区営住宅
(チャイルドフェンス)



おむつ替えシート



インフラ整備×地理情報システムの活用により誰もが子育てしやすいまちづくり

事業内容

◆公共空間における整備

- ・子連れで安心して外出できるよう
男子トイレ、共用トイレ等に**ベビーチェア・ベビーベッド**を設置
- ・実施場所：児童館(4箇所)/市民スポーツセンター(1箇所)/公園(3箇所)

男性も外出時におむつ替えができる
→男性の育児参加を促進



授乳室、ベビーチェア付の男性トイレなどがスマホで見られる
→外出時も確認できる



見える化のイメージ

◆誰もが子育てしやすい環境づくりの推進

- ・子育て環境整備、意識改善に関する**講演会の実施**
- ・「(仮称)ワーク・ライフ・バランス推進優良企業認定制度」の創設

市民・事業者に対する意識啓発
→ワークライフバランス向上

◆子育てサービスの見える化

- ・市内における男性の育児参加等の**好事例の発信**
- ・インフラ整備された施設や子育てサービスが利用できる設備等を
スマホで簡単に閲覧できるシステムの構築

※子ども子育てデジタルワンストップサービスと連携し、プッシュ通知を行うことで、効果的な利用促進につなげる



インフラ整備と子育てサービスの見える化で誰もが子育てしやすいまちづくり

子育て支援設備・制度の可視化・周知

インフラ整備

事業スキーム



講演会・地場産野菜の収穫と料理教室を通して固定的性別役割分担の解消と男性の家事・育児参加の促進を図る

事業内容

◆男性の家事・育児参加促進のための講演会

- ・メディア等でも活躍する講師による講演会の実施 <年1回>
- ・男性の家事・育児参加の促進
- ・固定的性別役割分担意識の解消



◆地場産野菜の収穫と料理教室

- ・市内農家で地場産野菜の収穫体験と
地場産野菜と市の特産品（柳久保小麦）を使った
料理教室の実施 <R5：年1回、R6,7:年2回>
- ・父親と子供と一緒に参加
- ・実際に参加できなかった方や、体験後復習したい方向けに
デモンストレーション動画も公開 <R6,7>
- ・ご家庭で地場産野菜や果物を作った料理が作れるようレシピ集を作成 <R7>



講演会、料理教室は
保育付き
母親にリフレッシュ時間を
提供



◆男性の家事・育児参加促進冊子の作成（令和6年度）

- ・男性の育児休業取得や家事・育児シェアに関する情報を分かりやすく記載
- ・男性の家事・育児参加の促進、固定的性別役割分担意識の解消
- ・市内公共施設等で配布するほか、市HPにも掲載

野菜の収穫後は、
実践的な
家事スキルを習得



父子の絆を
深める

新たなサイト・アプリの活用により、利便性の向上と子育て情報・住宅情報の発信力強化

事業内容

◆子育て総合ポータルサイト・子育て応援アプリを一体整備

- ・子育て応援サイトを改修して**子育て総合ポータルサイト**を構築し、さらに**子育て応援アプリ**を一体整備
- ・市HP、総合ポータルサイト、アプリでの**一体的な情報発信**を実現し、簡単に必要な子育て支援情報にアクセスできるようにする
- ・総合ポータルサイトの**掲示板機能**、**イベントカレンダー機能**を強化
- ・個々の子育てに寄り添うアプリとして予防接種情報提供機能、**オンラインアンケート**、電子母子手帳、**子育て情報プッシュ通知機能**を追加

◆移住・定住情報サイトの充実強化

- ・不動産業者と連携し、**子育て世帯向け物件情報**を充実化
- ・併せて、物件情報の**検索性向上**、効率的な物件情報の管理手法導入等、**機能面も強化**



エリアごとの雰囲気や子育てしながらあきる野で暮らすことのイメージを促す



3. 自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクト

【採択事業一覧】

1	世田谷区	健康増進・フレイル予防を目的としたデジタルポイントラリーによる高齢者の外出促進事業	P 20
2	北区	高齢者デジタルデバイススマホ講座を核とした高齢者の社会参加及び世代間交流促進事業	P 21
3	板橋区	デジタルを使いこなす『元気』高齢者育成事業 ～体験しながらデジタルデバイス解消！フレイル予防！～	P 22
4	練馬区	デジタルシニアに向けた新しいフレイル予防 ～AI搭載アプリ「フィット&ゴー」～	P 23
5	八王子市	EBPM×市場サービス活用による、次世代の介護予防基盤構築プロジェクト	P 24
6	福生市	デジタルが叶える 高齢者の居場所づくり・健康増進・余暇活動の充実等推進事業	P 25
7	瑞穂町	多世代交流施設によるデジタルを活用したQOLの向上	P 26

デジタルポイントラリーにより、高齢者の外出を促進し新たな交流を促すことで、QOLを向上

事業内容

◆デジタルポイントラリーを活用した高齢者の外出促進

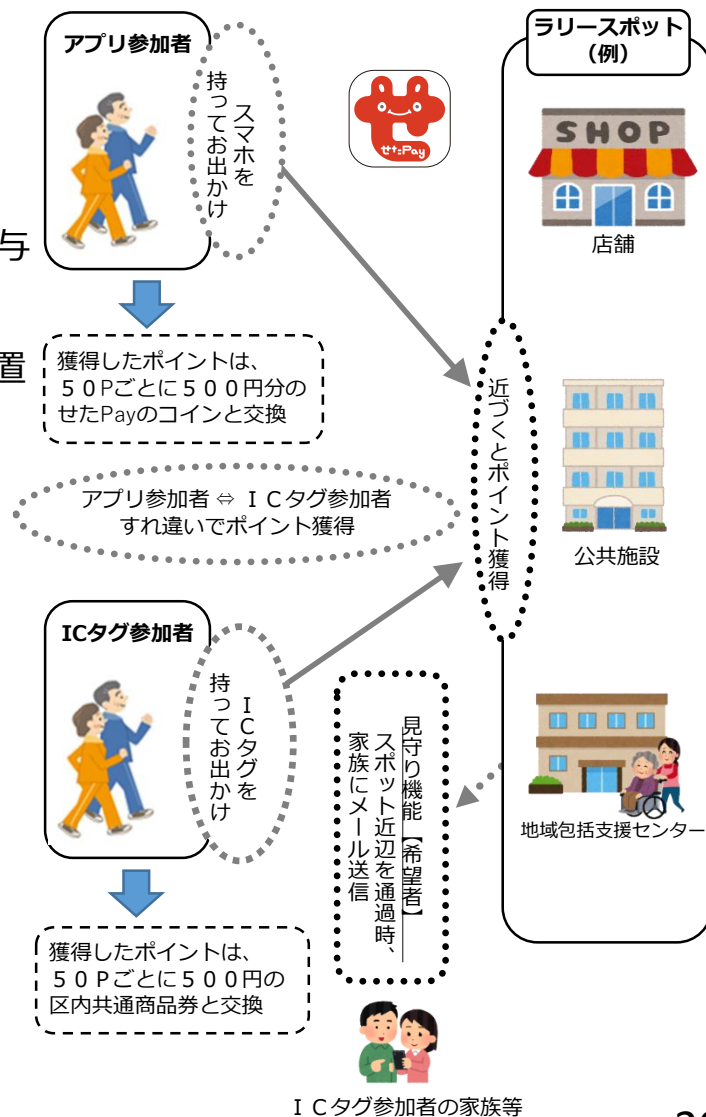
- ・スマホアプリ及びICタグを活用した外出促進ポイントラリー事業を実施
- ・ラリースポット通過または、アプリ参加者とICタグ参加者のすれ違いでポイント付与
⇒ポイントはせたがやpayなどに交換可能（地域振興にも寄与）
- ・ラリースポットは区内30箇所程度（商店、地域包括支援センター等）に設置
⇒交流拠点を中心にスポット設定し、**地域とのつながりのきっかけ創出**

◆ポイントラリーを活用した新たな見守り体制の構築

- ・ラリースポットの通過記録を家族にメール配信し、**高齢者の見守りとして活用**
- ・ラリー参加者が地域包括支援センター等のラリースポットに訪れた際に声掛けを行うことで地域での見守りを実施

◆デジタルデバイス対策との連携

- ・スマホ所持者はスマホ講座等にて本事業の案内し、フレイル予防を図る
- ・スマホ未所持者には、まずはICタグでポイントラリー事業に参加してもらいポイント付与率やせたがやpayなどの利便性からアプリ活用に誘導



地域全体で高齢者デジタルデバイドを解消するとともに、フレイル予防と世代間交流を促進し、QOLを向上

事業内容

◆デジタルデバイス解消を支援

- ・**スマホ講座、スマホ操作相談会**を実施
- ・WIFI環境を整備し、デジタルを活用した展示会などを開催することでデジタルの利便性を実感するなど継続的なスマホ等の活用を促進

◆高齢者の社会参加や大学生も巻き込んだ世代間交流などの「つながり」づくり

- ・デジタルリテラシーの高い高齢者を積極的に補助スタッフとして採用し、**社会参加の場を創出**することで、地域の**高齢者同士のつながりを活性化**
- ・交流会イベントでは**大学生と意見交換**し、運営に生かすことで**世代間交流を創出**
- ・大学生スタッフも参加した**eスポーツ**や脳トレアプリの体験イベントなど開催

◆健康アプリを活用した、フレイル対策を促進

- ・スマホ講座を通して健康アプリ「あるきた」をインストールし、**グループで活用することで交流・運動機会を創出**
- ・「あるきた」についても高齢者目線のシステム改修を予定

◆高齢者の健康状態把握し事業効果を検証

- ・講座、交流会等でアンケートを実施し健康状態を把握
- ・過年度の健康調査との比較により事業の効果を分析、以降の事業に反映

デジタルデバイス解消

フレイル予防

社会参加

世代間交流

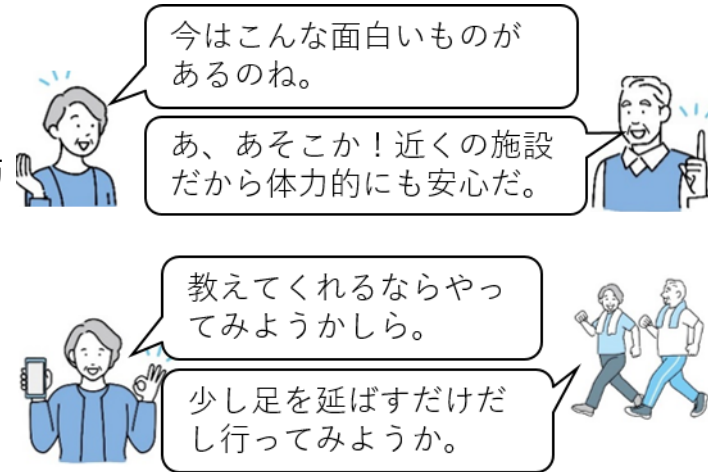


デジタルスキルや身体状況に合わせたデジタル体験環境を整備し、
高齢者が外出や交流を楽しむことで、QOLを向上

事業内容

◆支援で安心！スマホを利用した地域周遊施策の実施

- ・高島平近隣地域で、**スマホを利用する周遊体験環境を整備**
⇒商店街や観光地にコンテンツを設置し、楽しくデジタルを利用しフレイル予防
- ・スマホ教室や体験ツアーで間口拡大を行うとともに
音声ナビ※による移動支援等を実施
※GPSやVPSで自己位置推定を行い、骨伝導スピーカーにて移動支援



◆地域拠点でのデジタル体験環境整備

- ・移動負荷の小さい地域内拠点施設への外出動機と機会を創出
⇒**熱帯環境植物館にデジタル体験設備（XR）を整備する等、コンテンツを作成**
⇒楽しんでフレイル予防を行いつつ、デジタル体験とスマホ利用のきっかけづくり



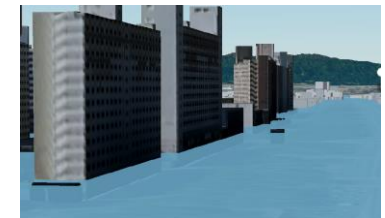
地域周遊施策のXR体験
(イメージ)



熱帯環境植物園のXR体験
(イメージ)

◆防災力向上！デジタル水害体験の実施

- ・**荒川氾濫時の浸水被害をデジタル上で体験**することで防災意識を向上
⇒スマホ教室等にてデジタル水害体験会を実施するとともに、
災害情報や避難混雑箇所情報のデジタルでの取得方法を周知し、
避難計画の策定や早期避難意識の醸成を図る



デジタル水害体験会の様子

アプリを活用して健康行動の習慣化とリアルな場への参加を後押しし、高齢者のQOLを向上

事業内容

◆アプリを活用したフレイル予防

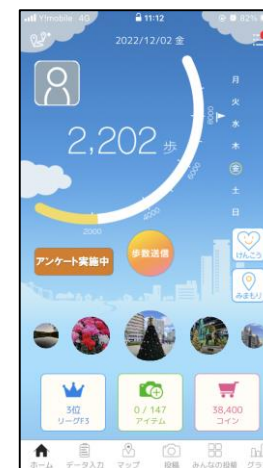
- ・歩数等を記録出来る健康支援アプリにAIを搭載しスマホのログから**フレイルリスクを判定**、**ナッジメッセージによるアドバイス機能**を活用し、**健康行動の習慣化**を後押し
- ・マイナポータルと連携し、検診情報等をアプリに反映することで精度の高い情報を提供
- ・スマホログ、アプリ内アンケートなどのデータを**研究機関と分析**、**効果検証**

◆アプリを活用し社会参加先の見える化とマッチングの促進

- ・**社会参加プラットフォームの情報をアプリ内地図と連携**し、近隣のイベントや雇用情報を可視化
- ・AIが個人の興味関心や健康状態に合った**社会参加先をプッシュ通知**

◆スマホ教室・相談の充実

- ・アプリ参加者の拡大とデジタル格差の解消を同時に達成
- ・スマホ教室のほか、シルバー人材センターと連携し、シニアスマホ相談員を育成し、町会・自治会等に派遣



フレイルAI判定アプリ

- ・スマホから取得したデータをAIが分析・判定、フレイルリスクとメッセージを送信、行動変容が期待できる
- ・社会参加プラットフォームと連動し、社会参加を促進

デジタル基盤を構築することで、官民データ連携と市場サービス活用を推進し、高齢者の健康習慣を支えてQOLを向上

事業内容

◆健康アプリの活用促進・データ取得

- ・高齢者が自ら、楽しく、健康づくりに取り組めるように、スマートフォンアプリを使った健康ポイント「てくポ」の活用を拡大
- ・アプリでは、利用者一人ひとりのデータを基に、健康づくりに資する市場サービスやイベントの情報を個々に提供
- ・取得した個人のデータは、後述の「EBPMプラットフォーム」でも活用

◆「EBPMプラットフォーム」の構築

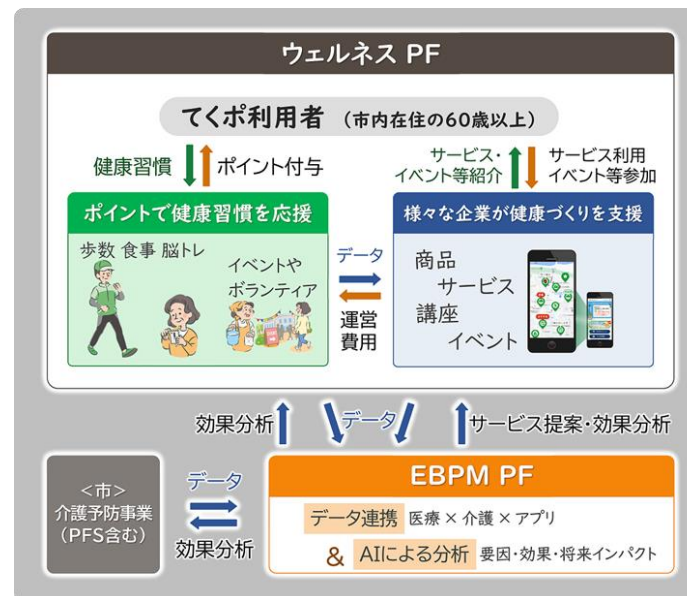
- ・医療・介護データや「てくポ」等で得た官民のデータを匿名化後に連携させ、AI分析を行うことで、事業効果の事前推計・測定・要因特定を可能とし、政策立案に寄与するプラットフォームを構築
- ・プラットフォームを活用して、個々人にカスタマイズされたより精度の高い情報を「てくポ」を通じて利用者に提供
- ・介護予防分野における成果連動型委託契約（PFS）を試行的に実施し、拡大

EBPM (Evidence-based policy making)

政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとする

成果連動型委託契約（PFS）

地方公共団体等が、民間事業者等に委託等して実施させる事業のうち、
●その事業により解決を目指す「行政課題」に対応した「成果指標」が設定され、
●地方公共団体等が当該行政課題の解決のためにその事業を民間事業者等に委託等した際に支払う額等が、当該成果指標の改善状況に連動する事業



手厚いデジタルデバインド対策により、既存の様々なデジタルサービスへ接続し、高齢者のQOLを向上

事業内容

◆デジタルデバインド対策

- ・**スマホ所有の有無に関わらず、充実した支援を実施**し、スマホ活用を促進
 スマホ未所有者：スマホ貸与、スマホ教室、コールセンターで操作支援、スマホ購入支援
 スマホ所有者：スマホ教室、スマホ相談会
- ・**高校生がボランティア**としてスマホ操作を教えることで、**多世代交流**を実現
- ・市の広報アプリやバス交通システム等、既存のデジタルを活用した行政サービスの紹介



◆デジタルを活用した健康増進・余暇活動等

- ・**デジタルを活用した健康増進・余暇活動等を多様なメニューで展開**
 - ・健康増進・余暇活動の充実
 フレイル教室のハイブリッド開催、**電子図書館の新設**、スマホ教室でダウンロードした**アプリで外出促進**
 - ・居場所づくり・見守り、安全安心対策の強化
 LINEグループ作成・交流、市の情報メール発信
- ・ネット通販体験会や、スマホを使ったウォーキングイベントを実施し、**デジタル活用を定着化**



共創共耕の多世代交流施設とデジタル環境の整備により、様々なコンテンツを提供し、高齢者のいきがいを創出

事業内容

◆農園を活用した瑞穂町らしい高齢者のいきがいづくり

- ・多世代交流施設に**高齢者の新しい社会活動を生み出す環境として、農園を整備**
- ・デジタルツールによる農園データの確認、農園におけるイベント実施等で、楽しみながら農園を管理



◆新たな交流を活用したデジタルデバインド対策

- ・Wi-Fi環境の構築とデジタルツール（スマートフォンやタブレット）の利用方法を学ぶ講座を実施
- ・農園で知り合った**若い世代が高齢者に自然とデジタルツールの使い方を教える**といったデジタルデバインド対策

◆多世代交流施設でのアプリを活用した健康ポイント事業

- ・**健康アプリを活用したポイント事業**により、健康増進の取組を実施
- ・多世代交流施設に会場し、イベント参加でポイントを付与



高齢者福祉センターを
多世代交流施設にリニューアル（イメージ）

4. 「みんなの居場所」創出プロジェクト

【採択事業一覧】

1	中央区	晴海地域交流センター「はるみらい」における地域コミュニティ拠点の創出	P 28
2	足立区	やってみたいを、やってみる居場所 ～NO BORDER ADACHI プロジェクト～	P 29
3	立川市	身近な場所でふらっと立ち寄れる、相談や交流、活動の場、地域福祉アンテナショップ設置事業	P 30
4	昭島市	水と緑から始まる私たちの居場所づくりプロジェクト	P 31
5	東大和市	児童発達支援センターを核とした多世代・地域交流プロジェクト	P 32
6	羽村市	地域との連携による居場所づくり事業	P 33
7	利島村	空き家を活用した島内外の人材交流拠点整備事業	P 34

さまざまな世代に心地よい「居場所」を整備し、交流とにぎわいを生み出す拠点構築

事業内容

◆地域コミュニティ拠点の整備

- ・晴海地区の新たなまちの誕生に合わせて
「ほっとプラザはるみ」をさまざまな世代に対応した
交流とにぎわいを生み出す拠点施設へとリニューアル
- ⇒コンセプトは「**ふらっと立ち寄れる居場所**」
- ⇒ガラス張りの入口、開放可能な扉、小上がりスペース、
一体利用できる屋外イベントスペースを設える
- ⇒地域主体の活動を生み出すコミュニティの核を目指す

多世代交流、地域活動スタジオ
(イメージ)はるみらい外観
(イメージ)

◆交流とにぎわいを生み出す拠点創出

- ・地域住民、地元企業等で構成される
晴海地域交流センター運営協議会と連携してイベントなどを企画
- ⇒地域住民等が実施する地域コミュニティの醸成に寄与
- ・いつでも何かが企画されており、
人が集まり、交流できる場の提供を目指す
- ⇒パブリック・アート、施設デビューの会、3世代で楽しむ遊びと交流、
異業種交流会、多世代健康運動、多文化サロン、マルシェ 等



老朽化した綾瀬駅西口高架下店舗を活用し、地域住民等が“やってみたい”ことを支援・実践する「居場所」として再生

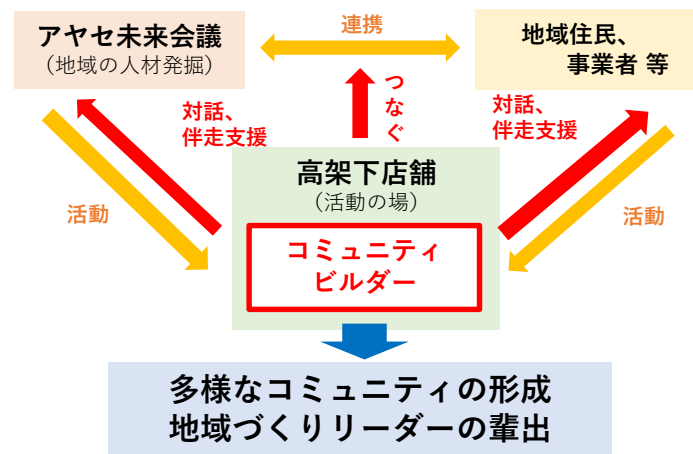
事業内容

◆地域住民等が“やってみたい”ことに対する伴走支援

- ・形成されたコミュニティが自走し、高架下店舗以外でも活動していくことを目標に**伴走型の支援を行えるようコミュニティビルダーを配置**
- ・コミュニティビルダーは地域住民等の“やってみたい”ことの実践に向けた相談・助言に加え、高架下店舗を含めた活動場所の提供や、協力・連携できそうな方同士のつなぎを実施
- ・シェアキッチンやシェア棚、イベントスペース等を設け、コミュニティビルダーによる「食」や「本」等を通じた地域住民等との交流・対話を実施

◆綾瀬駅西口高架下店舗の内装整備

- ・**地域住民等の意見も取り入れた施設内装**を検討
- ・什器を可動式にするなど、オープン後も地域住民等とともにコンテンツや内装を検討しながら変化させていくことを想定



高架下施設「あやセンター ぐるぐる」外観

気軽にふらっと立ち寄れる、相談・交流・活動の場である「居場所」を展開

事業内容

◆「地域福祉アンテナショップ」を各地に展開

- ・身近な場所で、誰もが気軽に、ふらっと立ち寄れる地域の多機能拠点である「地域福祉アンテナショップ」を市内各地に設置
- ・既存の2か所に加え、新たに4か所を新設し、市内生活圏域6か所を全てカバー



◆施設・地域の特色を活かした取組の実施

- 子供・若者を軸とした多世代交流
 - ・**子供の居場所**としてトワイライトステイ、学習支援、駄菓子販売等を実施
 - ・保育園で使うバッグの裁縫を高齢者から学ぶ催しなど、**子育て世代の孤立防止と高齢者の社会参加**を同時に実現
- 農福連携
 - ・施設に併設された農地における**農業体験を通じた心身の健康回復や社会参加**
- 商店との連携
 - ・商店街や関係機関と連携し、**施設利用者と職業体験をマッチング**
 - ・多様な情報発信、理解促進を図り、賛同企業・団体を拡充



新たな交流拠点施設の整備を契機として、地域や施設の特徴を活かした住民主体の居場所づくり

事業内容

◆住民主体の「居場所づくり」

- ・新たな交流拠点施設（図書館、貸室、カフェ等）が、多くの住民にとって自分の居場所となるよう、**ワークショップなど通じて住民の意見を集め、施設運営方針や利用ルール等に反映**
- ・発災時の居場所となる本施設を中心に、新たな防災コミュニティを創出



ワークショップ

◆「居場所サポーター(仮)」の育成

- ・ワークショップなどに参加した住民等を「居場所サポーター(仮)」として登録
- ・「居場所サポーター(仮)」が**多様な居場所のリーダーやコーディネーターなどの役割を担えるよう、学習会やイベント企画・運営などを通じて育成**
- ・「居場所サポーター(仮)」の活動自体も、一つのコミュニティとして継続的に運営

子どもガーデン（イメージ）



◆地域や施設の特徴を活かしたイベント実施等

- ・深層地下水100%を誇るあきしまの水や緑など**住民にとって親しみのあるテーマにしたイベントを開催し、交流を促進**
- ・イベント情報や施設利用状況等を通知するポータルサイト運営し、子育て世代や若者にもPR

【施設特性を活用したイベントのイメージ】

（子どもガーデン）子どもガーデンレンガづくり、環境学習 （給水スポット）あきしまの水学習会、リフィル活動

関わりの少なかった世代間、団体間交流の拠点となる「居場所」を創設し、地域活動を活性化

事業内容

◆多世代に向けた交流・居場所の創出

- ・児童発達支援センター・保育施設に、地域交流カフェ・園庭（ビオトープ）・ピロティ等を整備し、開放することで、**地域住民の交流・憩いの場を創出**
- ・研究活動（乳幼児期の発達）を通じた大学生の交流



◆施設を活動拠点としたボランティア団体による地域活動の活性化

- ・地域の児童も参加できる地域活動（木育・自然体験）の講師として**高齢者ボランティア団体が参加**
- ・これまで活動地域が限定的であったボランティア活動を施設内で実施することで、より多くの人にリーチし、新規参加者を発掘
- ・市や運営者が仲介し、**これまで関わりの少なかった団体間の交流及び連携を促進**

◆センターの子供と近隣小学校児童の交流

- ・小学校の課外授業として、センターの子供たちと自然体験を実施



完成イメージ

「つかう」「つくる」「つなぐ」をコンセプトに、市民が主体となり、公園を多様な活動ができる「居場所」として整備

事業内容

◆ 誰もが、自由に、好きなことに「つかう」

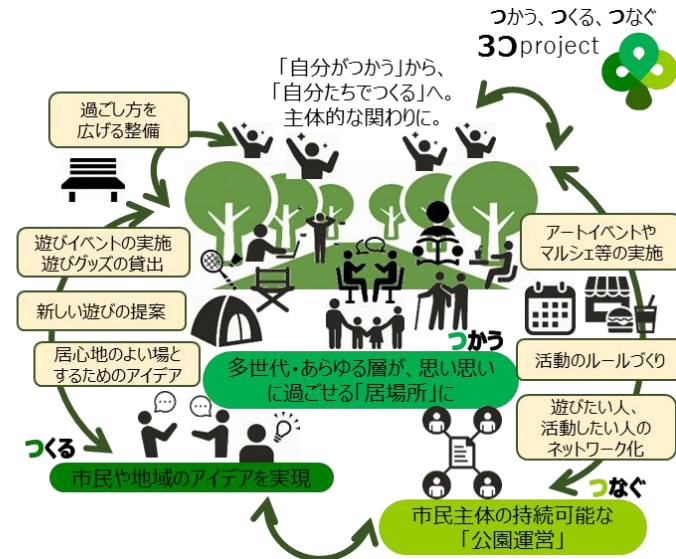
- 来園した地域住民が交流する仕掛けとして、市民自らイベントを持ち寄り企画
【イベントテーマ例】
「ART & MUSIC の日」
地元アーティストや市民等が作品を披露、作品づくりの体験
「自然遊びの日」
市民団体等による自然を感じる遊び（ハンモック、公園探索等）
- 地域団体やクリエイターに活動の場を提供（イベントへの出店等）

◆ 過ごしやすい、交流が生まれる空間を「つくる」

- 公園で過ごし方・遊びを広げるための施設整備、機能向上
例：テーブル・ベンチ・ウッドデッキ等の設置、舗装・芝生の整備、シェアスペースの整備

◆ ヒトとヒト、ヒトとコトを「つなぐ」

- 公園でどんな過ごし方・遊び方をしたいか、ワークショップで検討し、参加メンバーを居場所づくりの主体としてネットワーク化
- ワークショップの過程やリニューアルした公園を紹介する動画によりネットワークを拡大、持続的な活動へ



空き家を活用した「居場所」の整備により、島内外の多様な人材の交流の場を創出

事業内容

◆空き家を活用した島内外の人材交流拠点整備

・空き家をリノベーションし、「いつでも／誰でも」集合できる場として、
ワーキングスペース及びカフェ機能を整備

⇒ワーキングスペースやカフェ機能の設置は利島村では初の試み

⇒Iターン移住者と島内住民、島外人材など

普段交流機会の少ない人々の交流拠点

【参考】子供の遊び場、学び場施設を併設予定

⇒島内における子育てと仕事の両立に向けた基盤を整備

・臨場感のあるオンライン交流が可能な次世代コミュニケーションツールを活用した**新たな交流の実現**

⇒コミュニケーションツール導入済みの他島との交流

⇒イベント時に島外に移住した島出身者との交流を実施

・村民大学の開催

⇒島寿司等の作り方を教える郷土料理教室など、
島出身者からIターン移住者が**伝統・文化を学ぶ**



ワーキングスペース&カフェ機能（イメージ）



リノベーションする空き家



次世代コミュニケーションツール活用イメージ



5. 参考

- 「未来の東京」 戦略（令和3年3月）

<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/mirainotokyo-senryaku/>

- 「未来の東京」 戦略 version up 2024（令和6年1月）

<https://www.spt.metro.tokyo.lg.jp/seisakukikaku/versionup2024/>

- こども未来アクション2024（令和6年2月）

<https://www.kodomoseisaku.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/kodomo-mirai-action>

- 東京都の少子化対策 2024（令和6年2月）

<https://www.kodomoseisaku.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/syoushikataisaku>